

2022 ミュージック エデュケーション メッセ in KANTO

明日の授業を考えよう ~変わらないもの 変わっていくもの~

皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

下記の通り、2022 ミュージック エデュケーション メッセ in KANTO を開催いたします。このセミナーは、音楽教育に携わる先生方や関係者が一堂に会し、模擬授業や実技演習を通して、これからの音楽教育を共に語り、悩みの解決策や新たな指導法を見いだそうとするものです。

コロナ禍であったこの2年間は、皆様のご協力をいただきながら、茨城の教員を中心にオンラインによる研修会を続けて参りました。今年度になり、国や自治体によるコロナ感染に対する指標も緩和され、対面での研修が可能となってきました。そこで、今回は3年ぶりに対面で開催することといたします。

コロナ禍になり、音楽の授業（特に歌唱や器楽の学習）は、大きく制限がかかり、従来の学習活動が難しい状況が続いています。一方、国の GIGA スクール構想の実現が前倒しされたことで、学校教育全般で ICT を活用した教育が急速に進んでいます。中でも、児童生徒に 1 人 1 台端末が配付されたことで、音楽教育においても新しい学びや実践が数多くみられるようになってきました。また今年 8 月には、文化庁において文化部の地域部活動移行の提言がまとめられました。今後、児童生徒の生涯学習としての音楽活動にも注目が集まることが予測され、学校における音楽教育の役割も再度考えていく必要があるのではないのでしょうか。

今回のメッセでは、このような状況を踏まえて、うた（音楽）の力や授業実践、「地域×音楽教育の未来」をテーマとしたシンポジウム等を企画しました。短い時間ではありますが、皆様と共に明日の音楽教育について考えていけたらと思っております。

このセミナーには、毎回全国各地から、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学と多くの校種の先生方を中心に参加されて、とても有意義なものとなっております。どうぞお気軽にご参加いただきますよう、関係者一同、心からお待ちしております。

ミュージック エデュケーション メッセ in KANTO 実行委員一同

記

- 1 主 催 ミュージック エデュケーション メッセ in KANTO 実行委員会
- 2 日 時 2022 年 12 月 17 日（土） 10 時 30 分開会 16 時終了予定
- 3 場 所 茨城県 つくば市立手代木中学校
〒305-0035 茨城県つくば市松代 5 丁目 10 番地
- 4 対 象 音楽教育関係者、音楽科教育に興味をお持ちの方
- 5 講 師 田中 健次 先生 茨城大学名誉教授
- 6 後 援 茨城県教育研究会音楽教育研究部 申請中
つくば市教育研究会音楽教育研究部
- 7 参 加 費 一般の方 2,000 円 大学生・大学院生の方 1,000 円
※参加費は、当日現金にて支払いをお願いします。
※実践発表・講座の途中参加、早退に関しては返金いたしかねます。

8 協力 音楽学習学会

9 日程

10:00~ 10:30~ 10:40~ 11:40 13:00~ 14:00 14:15~ 15:35 15:40~

受付	開会行事	実践発表1	企業紹介 昼食休憩	講演 実践発表2	シンポジウム	閉会行事
----	------	-------	--------------	-------------	--------	------

※会の途中、閉講式後に、企業からの製品紹介、相談の時間を設定する予定です。

10 講座・体験

実践発表1 「誰でも!すぐに!楽しくできる!音楽づくり・創作の授業」①・②

①磯 幸子 さん 笠間市立みなみ学園義務教育学校 教諭

②黒澤百合子 さん 神栖市立波崎第四中学校 教諭

講演 「うた」のもつ力 - 校歌 この不思議な音楽世界 -

田中 健次 さん 茨城大学 名誉教授

実践発表2 「歌は人にどんな力や影響を与えるのか」

佐々木香織 さん 牛久市立牛久第三中学校 教頭

シンポジウム 「みんなで語ろう音楽教育の未来 in 茨城」Part I

～音楽部活動顧問 音楽家 行政 企業 保護者 それぞれの立場から～

【ファシリテーター】

菊池 康子 さん 東京藝術大学大学院 修士課程 音楽文化学(音楽教育)専攻・
つくば市立春日学園義務教育学校 教諭

【パネラー】

水挽 広美 さん つくば市立手代木中学校 教諭

鴫田 英之 さん 茨城おとのわプロジェクト代表・ユーフォニアム奏者

山田 聡 さん つくば市教育局 学び推進課 参事(兼) 総合教育研究所 所長

大野 義政 さん (株)ヤマハミュージックジャパン

管弦打営業部営業課 普及担当主任

11 申し込み方法

(1) PC、スマートフォンによるインターネット経由でのお申し込み

<https://forms.gle/BSNnhWoefgVqZmr7A> のサイトか、右のQRコードから

12月2日(金)までにお申し込みください。



(2) 昼食について

申し込みの際に、個数を把握するため、必要な方は必ず弁当の予約を

お願いします。(支払いは、昼食時にお願いします。)1個あたり1,000円(税込み)

12 その他

新型コロナウイルス感染拡大対策について

・研修にご参加される際は、マスク着用のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

茨城県土浦市立土浦第二小学校 坂本 恵美(旧姓:大野)

e-mail lbarakimesse@gmail.com

プログラムのご紹介

「誰でも！すぐに！楽しくできる！音楽づくり・創作の授業」①・②

「デジタルコンテンツ」を活用した音楽づくり・創作の授業について、皆様と一緒に考える時間になりたいと思います。

①では、小学校第5学年の「日本の音楽に親しもう」から「日本の音階を使った旋律づくり」と、第6学年の「いろいろな和音のひびきを感じ取ろう」から「和音の音で旋律づくり」を扱います。それぞれ学習者デジタルコンテンツ（以下、学デジ）の試行版を活用します。学デジは、画面をタップするだけですぐに音が出て、児童が何度も試しながら旋律をつくることができます。

②では、中学校2学年「CMソングをつくろう」と、3学年「カノン進行をいかした旋律づくり」を扱います。「CMソングをつくろう」では、指導者用デジタル教材に搭載のコンテンツを活用し、「カノン進行をいかした旋律づくり」では、ミニキーボードで生徒が実際に音を出しながら、旋律をつくっていきます。

「うた」の力 ー校歌 この不思議な音楽世界ー

学校で一番多く歌われるうた「校歌」。日本人学校も含めて日本の学校（小・中・高校）にはかならず校歌があります。しかし、かつて日本の影響を受けた東南アジアを除いて、世界の学校では校歌は制定されていません（「社歌」や「県民歌」も同様です）。日本独特の音楽文化ともいえる校歌はなぜ創出されたのでしょうか。そこには日本の近代化にうたが果たした役割、そして現在にまで通底する「うた（音楽）の力」を見ることができます。

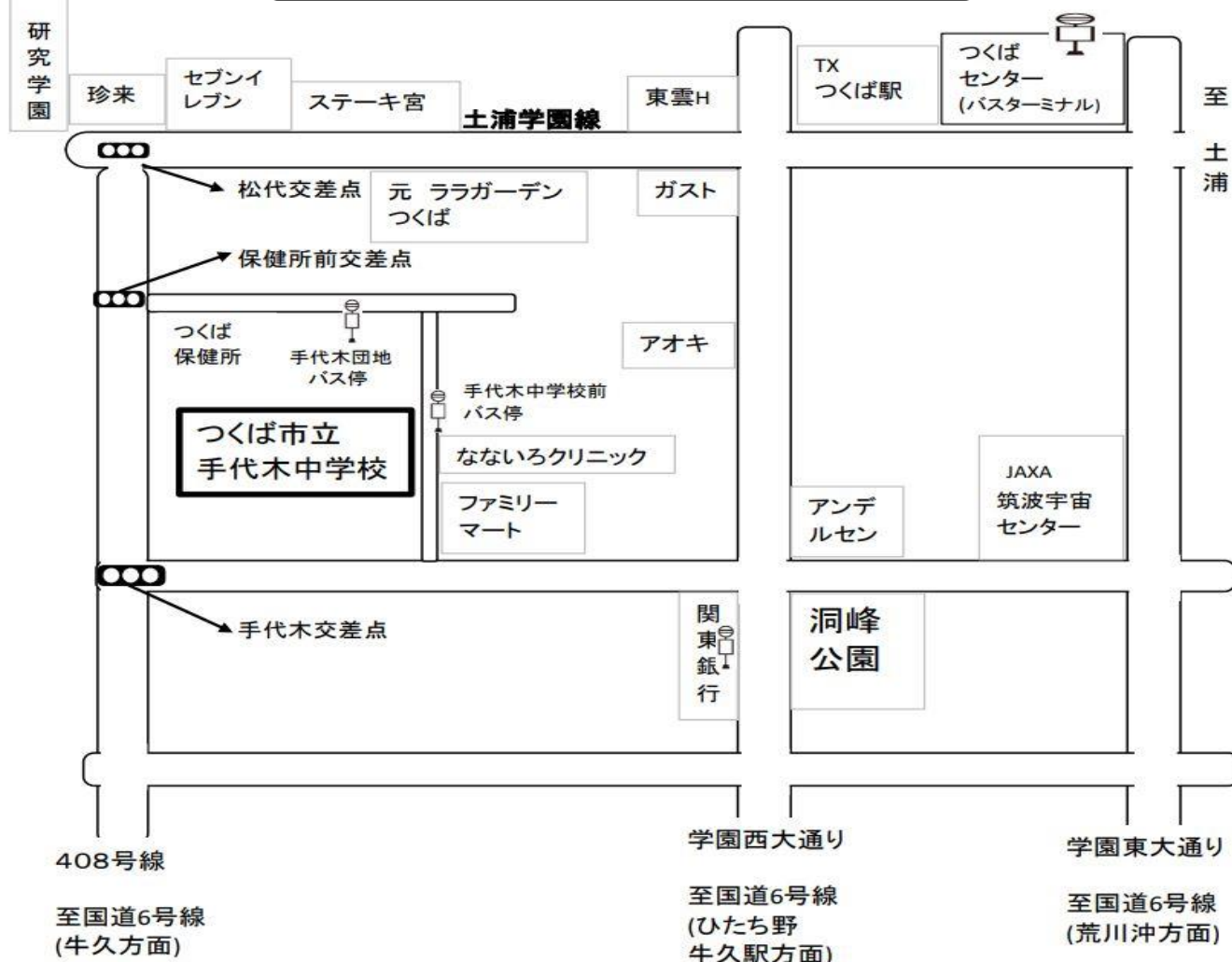
歌は人にどのような力や影響を与えるのか

中学2,3年生の鑑賞の授業を実践映像とともに提案します。授業は、教師の提示資料と生徒の調べ学習で得た情報をもとに、グループ学習で展開します。様々な歌のジャンル（国歌、校歌、民謡、応援歌、唱歌、童謡、子守歌など）から、自分たちが興味をもった歌を取り上げ、その歌の背景や音楽的な要素について調べたり、紹介し合ったりします。活動を通して、歌にはそれぞれの意図があってつくられていることに気付かせ、歌のもつ力や人に与える影響について幅広く考えられるようにします。

シンポジウム「みんなで語ろう音楽教育の未来 in 茨城」 part1

現行の学習指導要領では、学校や地域の実態に即した各学校独自の教育内容、必要な人的・物的体制の確保が求められています。また、文化部においても部活動の地域移行が本格的に動きだしました。この機会に、音楽の教育に関わる様々な立場の方たち（音楽部活動顧問・行政・音楽家・企業・保護者）が一堂に会し、子ども達の音楽的成長にそれぞれがどう関われるか、音楽教育の未来の可能性を話し合います。地元茨城を中心に、県内外の方々との充実した意見交換ができることを楽しみにしています。

会場へのご案内



〈各駅からのご案内〉

・TX つくば駅 (つくばセンター) 4 番のりば

松代循環 9:55 発 手代木団地下車 10:03 着 (徒歩 5 分)

松代南循環 10:02 発 手代木中学校前下車 10:11 着 (徒歩 1 分)

・常磐線 ひとちの牛久駅東口から つくばセンター行き

9:10 発・9:27 発 洞峰公園下車 (乗車約 20 分) (徒歩 15 分)

※常磐線 土浦駅西口から つくばセンター行き (乗車約 30 分) 乗り換え



2022 ミュージックエデュケーションメッセ in KANTO 実行委員会

委員長	門脇早聴子	(兵庫教育大学学校教育研究科 講師 前茨城大学教育学部学校教育教員養成課程 助教)
実行委員	山口 哲人	(茨城大学教育学部学校教育教員養成課程 准教授)
顧問	松崎 茂樹	(元桜川市教育委員)
アドバイザー	田中 健次	(茨城大学名誉教授)
事務局	茨城県に勤務する音楽科教員の有志メンバーで「いばみゅう」を結成し、音楽科教育に関する勉強会を月に1回程度実施しています。 「いばみゅう」で、本研修会の運営を行っております。	